

当PDF文書は上に示されている企業に関する詳細レポートのアップデート版として作成されたものです。
詳細レポート全体につきましては[弊社ウェブサイト](#)をご覧ください。

2020年8月3日、株式会社テンポイノベーションは、2021年3月期第1四半期決算を発表した。

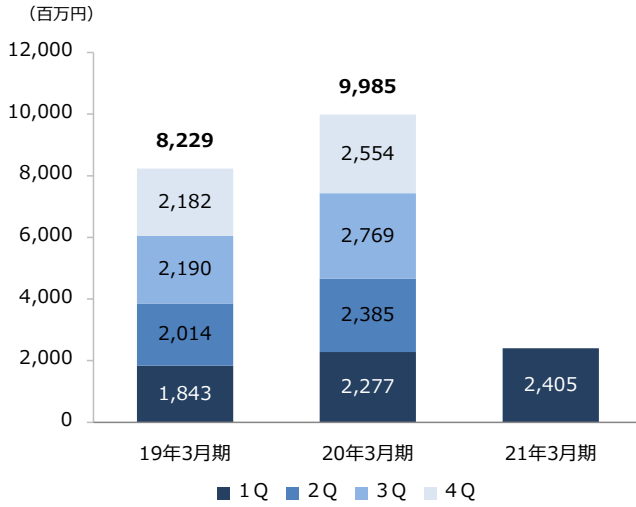
四半期業績推移 (累計) (百万円)	19年3月期				20年3月期				21年3月期
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q
売上高	1,843	3,857	6,047	8,229	2,277	4,662	7,432	9,985	2,405
ランニング収入	1,716	3,511	5,413	7,377	2,045	4,180	6,394	8,715	
イニシャル収入	126	344	631	851	231	482	1,036	1,269	
前年同期比	17.1%	21.5%	24.0%	23.0%	23.6%	20.9%	22.9%	21.3%	5.6%
ランニング収入	20.6%	21.7%	22.2%	21.7%	19.2%	19.1%	18.1%	18.1%	-
イニシャル収入	-16.6%	18.6%	41.2%	35.5%	83.3%	40.1%	64.2%	49.1%	-
売上総利益	333	739	1,156	1,560	426	880	1,487	1,953	377
前年同期比	14.0%	34.9%	38.7%	36.8%	27.8%	19.0%	28.6%	25.2%	-11.5%
売上総利益率	18.1%	19.2%	19.1%	19.0%	18.7%	18.9%	20.0%	19.6%	15.7%
販管費	210	400	604	826	238	515	821	1,168	276
前年同期比	22.3%	16.1%	12.5%	11.2%	13.5%	28.8%	35.9%	41.4%	16.0%
売上高販管費比率	11.4%	10.4%	10.0%	10.0%	10.5%	11.1%	11.0%	11.7%	11.5%
営業利益	124	339	552	734	188	364	666	785	101
前年同期比	2.3%	66.7%	86.4%	84.8%	51.9%	7.4%	20.6%	7.0%	-46.3%
営業利益率	6.7%	8.8%	9.1%	8.9%	8.3%	7.8%	9.0%	7.9%	4.2%
経常利益	126	343	529	714	195	382	689	812	109
前年同期比	0.0%	62.0%	80.0%	78.1%	55.5%	11.3%	30.2%	13.7%	-44.0%
経常利益率	6.8%	8.9%	8.8%	8.7%	8.6%	8.2%	9.3%	8.1%	4.6%
四半期純利益	87	237	366	510	135	269	482	564	72
前年同期比	6.0%	72.0%	94.1%	116.1%	55.9%	13.3%	31.6%	10.7%	-46.5%
四半期純利益率	4.7%	6.1%	6.1%	6.2%	5.9%	5.8%	6.5%	5.7%	3.0%
四半期業績推移 (3カ月) (百万円)	19年3月期				20年3月期				21年3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高	1,843	2,014	2,190	2,182	2,277	2,385	2,769	2,554	2,405
ランニング収入	1,716	1,795	1,902	1,964	2,045	2,135	2,214	2,321	
イニシャル収入	126	218	287	220	231	251	554	233	
前年同期比	17.1%	25.8%	28.6%	20.5%	23.6%	18.5%	26.5%	17.0%	5.6%
ランニング収入	20.6%	22.9%	23.1%	20.3%	19.2%	18.9%	16.4%	18.2%	-
イニシャル収入	-16.6%	56.8%	82.8%	21.5%	83.3%	15.1%	93.0%	5.9%	-
売上総利益	333	406	417	404	426	454	607	466	377
前年同期比	14.0%	58.7%	46.1%	31.7%	27.8%	11.8%	45.7%	15.4%	-11.5%
売上総利益率	18.1%	20.1%	19.0%	18.5%	18.7%	19.0%	21.9%	18.3%	15.7%
販管費	210	190	204	222	238	277	306	347	276
前年同期比	22.3%	9.9%	6.0%	8.0%	13.5%	45.6%	49.9%	56.1%	16.0%
売上高販管費比率	11.4%	9.5%	9.3%	10.2%	10.5%	11.6%	11.0%	13.6%	11.5%
営業利益	124	215	213	182	188	176	301	120	101
前年同期比	2.3%	161.2%	129.5%	80.1%	51.9%	-18.2%	41.7%	-34.3%	-46.3%
営業利益率	6.7%	10.7%	9.7%	8.3%	8.3%	7.4%	10.9%	4.7%	4.2%
経常利益	126	217	186	185	195	186	307	123	109
前年同期比	0.0%	152.8%	126.3%	72.7%	55.5%	-14.2%	64.9%	-33.6%	-44.0%
経常利益率	6.8%	10.8%	8.5%	8.5%	8.6%	7.8%	11.1%	4.8%	4.6%
四半期純利益	87	150	129	144	135	133	213	83	72
前年同期比	6.0%	168.5%	154.3%	203.4%	55.9%	-11.3%	65.2%	-42.4%	-46.5%
四半期純利益率	4.7%	7.5%	5.9%	6.6%	5.9%	5.6%	7.7%	3.2%	3.0%
期末転貸借物件数	1,284	1,335	1,395	1,459	1,526	1,584	1,634	1,684	1,689
前年同期比	18.9%	17.8%	18.1%	17.5%	18.8%	18.7%	17.1%	15.4%	10.7%
純増数 (前年同期比)	204	202	214	217	242	249	239	225	163
純増数 (前四半期比)	42	51	60	64	67	58	50	50	5
成約件数	71	79	110	102	101	100	91	105	43

出所：会社データよりSR社作成

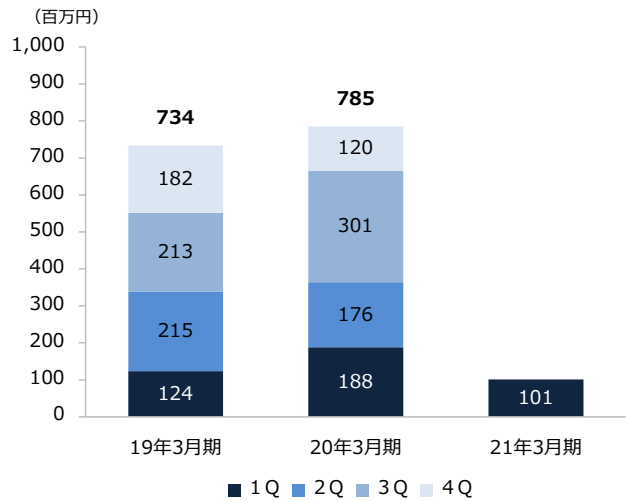
*表の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じた相違であることに留意

**不動産売買による収入はイニシャル収入に含まれる

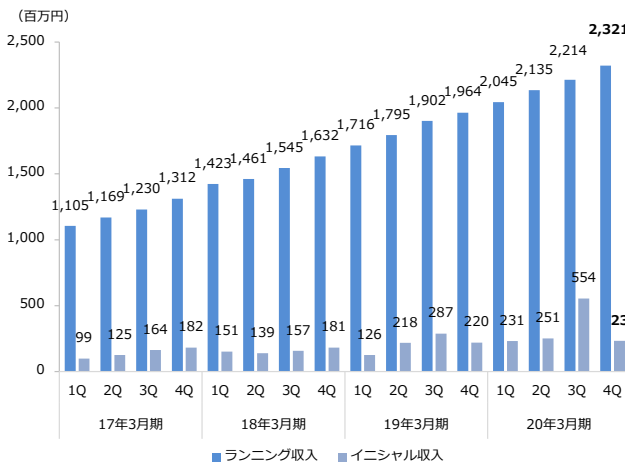
四半期売上高の推移



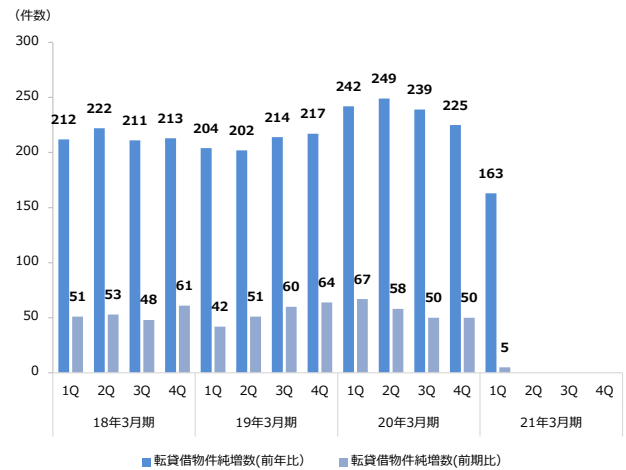
四半期営業利益の推移



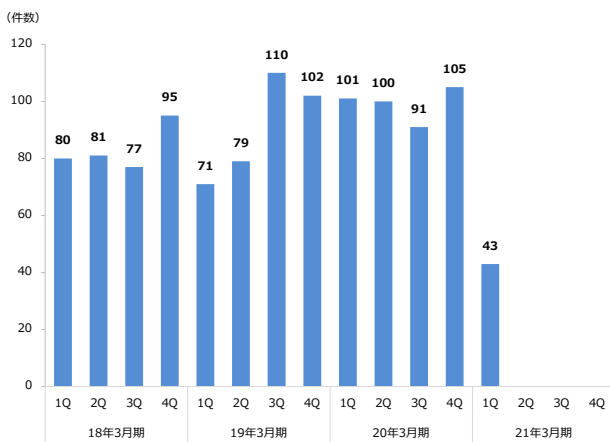
ランニング収入とイニシャル収入四半期推移



転貸借物件純増数推移



成約件数の四半期推移



出所：会社資料によりSR社作成

*図の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じた相違であることに留意

**2017年3月期の前年比純増数、2017年3月期1Qの前期比はデータなし

2021年3月期第1四半期実績（2020年8月3日発表）

業績概要

- ▷ 2021年3月期第1四半期（2020年4月～6月）実績
 - ▷ 売上高：2,405百万円（前年同期比5.6%増）
 - ▷ 営業利益：101百万円（同46.3%減）
 - ▷ 経常利益：109百万円（同44.0%減）
 - ▷ 四半期純利益：72百万円（同46.5%減）
-
- ▷ 事業環境（外食業界）：外食業界では、緊急事態宣言に伴う休業・営業時間短縮要請により、売上高、来客数が大幅に減少し、特に飲酒業態においては、多大な影響が出ている状況となっている。
 - ▷ 不動産市況：同社が事業展開をしている東京主要エリアにおける商業不動産賃料は高止まりの状態が続いているものの、緊急事態宣言の影響等により成約件数が大幅に減少する状況が生じており、今後の新型コロナウイルス感染症の問題が不動産賃料に与える影響については注視する必要がある、と同社はみている。

店舗転貸借事業

- ▷ 2021年3月期第1四半期売上高2,395百万円（前年同期比7.5%増）、セグメント利益100百万円（同40.9%減）
- ▷ 新型コロナウイルス感染症に対応に尽力した社員への特別手当の計上や、前期に実施したオフィス増床による地代家賃の増加等により、販売費および一般管理費が前年同期比で増加。
- ▷ 転貸借物件数：1,689件（2020年3月末比5件増）
- ▷ 新規契約件数、および後継付け件数（閉店した店舗に対し新規出店者と転貸借契約を締結したもの）の転貸借件数：計43件（前年同期比57.4%減）

不動産売買事業

- ▷ 2021年3月期第1四半期売上高10百万円（前年同期比99.8%減）、セグメント利益1百万円（前期比96.9%減）
- ▷ 店舗転貸借事業の推進のため、不動産業者とのリレーションシップ強化を目的として店舗不動産の仕入れ販売や建築販売を行う。
- ▷ 当第1四半期では、新型コロナウイルス感染症の影響により市場が不活性化していたため、物件の取得、売却はなし、2021年3月期第1四半期末の保有物件数は3件。

2021年3月期通期見通し

(百万円)	18年3月期			19年3月期			20年3月期			21年3月期
	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期実績	通期実績	通期会予
売上高	3,175	3,515	6,689	3,857	4,372	8,229	4,662	5,323	9,985	
ランニング収入	2,884	3,177	6,061	3,511	3,866	7,377	4,180	4,535	8,715	
イニシャル収入	290	338	628	344	507	851	482	787	1,269	
前年同期比	27.1%	21.7%	24.2%	21.5%	24.4%	23.0%	20.9%	21.7%	21.3%	
ランニング収入	26.8%	25.0%	25.9%	21.7%	21.7%	21.7%	19.1%	17.3%	18.1%	
イニシャル収入	29.5%	-2.3%	10.2%	18.6%	50.0%	35.5%	40.1%	55.2%	49.1%	
売上原価	2,626	2,923	5,549	3,118	3,552	6,669	1,851	6,181	8,032	
売上総利益	548	592	1,140	739	821	1,560	880	1,073	1,953	
売上総利益率	17.3%	16.8%	17.0%	19.2%	18.8%	19.0%	18.9%	20.2%	19.6%	
販売費及び一般管理費	345	398	743	400	426	826	515	652	1,168	
売上高販管費比率	10.9%	11.3%	11.1%	10.4%	9.7%	10.0%	11.1%	12.3%	11.7%	
営業利益	203	194	397	339	395	734	364	421	785	
前年同期比	50%	10.3%	27.4%	66.7%	103.7%	84.8%	7.4%	6.7%	7.0%	
営業利益率	6.4%	5.5%	5.9%	8.8%	9.0%	8.9%	7.8%	7.9%	7.9%	
経常利益	212	189	401	343	371	714	382	430	812	
前年同期比	-	-	22.3%	62.0%	96.0%	78.1%	11.3%	15.8%	13.7%	
経常利益率	6.7%	5.4%	6.0%	8.9%	8.5%	8.7%	8.2%	8.1%	8.1%	
当期純利益	138	98	236	237	273	510	269	296	564	
前年同期比	-	-	18.0%	72.0%	178.0%	116.1%	13.3%	8.4%	10.7%	
純利益率	4.3%	2.8%	3.5%	6.1%	6.2%	6.2%	5.8%	5.6%	5.7%	

出所：会社データよりSR社作成

*表の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じた相違であることに留意

**不動産売買による収入は、イニシャル収入に含まれる。

概要

- ▷ 2021年3月期業績見通しは、第1四半期決算発表後も未定となった。同社によれば、2020年2月後半以降、新型コロナウイルス感染症の影響により顧客の出店意欲低下やテナントからの解約増加等が発生し始めていた模様。依然として新型コロナウイルス感染症の収束時期も不透明で、同社もこの影響を合理的に算出することが困難であるため、業績見通しの公表を引き続き見送った。
- ▷ 新型コロナウイルス感染症の拡大による同社の営業活動への影響に関しては、一方的な解約対応ばかりではなく、家賃調整交渉への対応が多くを占めている模様で、同社は不動産所有者にも協力を仰ぎ、対応している。また、同社によれば、飲食店経営者の多くが店舗経営の継続を第一としており、公的支援も考慮しつつ賃貸の継続を模索しているケースが多い、とのことである。

店舗転貸借事業

- ▷ 当事業の継続的な拡大を図るための以下の基本的施策は、2021年3月期に入っても継続される、とSR社では考えている。
- ▷ 営業部門と物件管理部門の融合：指示系統の統一や部門間の情報共有の精度向上を図り、質的向上を目指す
- ▷ 人材採用強化：営業組織の基盤強化を目的とした、積極的な人材採用（新卒及び中途採用）を行い、専門的な知識やノウハウを身に付けられるよう新入社員を中心に教育プログラムを実施し戦力化を図る。また、マネージメント層に対しても、引き続き経営に関する教育プログラムを継続する。
- ▷ 新人とベテランの分業体制による業務効率化：新規採用人員の戦力化の進捗に応じて、ベテラン社員の難易度の高い物件仕入業務へのシフトを段階的に推進し、営業生産性の向上を図る。新規案件の増加は、手掛ける案件の増加に直接的に繋がるほか、収益性の面からも今後強化する必要がある、と同社は捉えている。新型コロナウイルス感染症の拡大状況を見極めつつ、客付けを中心とした営業活動を行ってきた社員も、当年度は一部を客付け業務から将来の成

長に重要な役割を果たす仕入れ業務に配属転換することや、引き続き期中にも営業経験者の採用を進めるなど、新規案件の獲得強化を行うタイミングを計っている。

不動産売買事業

- ▷ 当事業の目的は、第一義的には地元不動産業者との関係強化である。不動産売買事業を報告セグメントに追加した2020年3月期第2四半期以降も、店舗用不動産物件の売買取引の施策については、物件情報元である不動産業者とのリレーションシップの強化を図り、取引の幅を拡大する方針は変わらない。こうした関係性の強化は、優良物件の情報源として重視している。同社によれば、地元不動産業者（不動産保有者も含め）との関係性を構築しているのは、まだ都内駅周辺でも数十件程度で、まだ強化すべき地域は都内に残っているとのこと。同社は、引き続き地元不動産業者との関係性の強化を図る方針。同社では、当事業を通じて不動産売却のためのノウハウを蓄積しつつあり、2020年3月期では当事業が大きく利益に寄与している。今後は、地元不動産業者との関係性を維持しながらも、不動産売買による利益獲得についても注目している。

このリサーチメモは、掲載企業の[最新版レポート](#)にも掲載されています。

株式会社シェアードリサーチは今までにない画期的な形で日本企業の基本データや分析レポートのプラットフォーム提供を目指しています。さらに、徹底した分析のもとに顧客企業のレポートを掲載し随時更新しています。

ディスクレーム

本レポートは、情報提供のみを目的としております。投資に関する意見や判断を提供するものでも、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。SR Inc.は、本レポートに記載されたデータの信憑性や解釈については、明示された場合と黙示の場合の両方につき、一切の保証を行わないものとします。SR Inc.は本レポートの使用により発生した損害について一切の責任を負いません。

本レポートの著作権、ならびに本レポートとその他Shared Researchレポートの派生品の作成および利用についての権利は、SR Inc.に帰属します。本レポートは、個人目的の使用においては複製および修正が許されていますが、配布・転送その他の利用は本レポートの著作権侵害に該当し、固く禁じられています。

SR Inc.の役員および従業員は、SR Inc.の調査レポートで対象としている企業の発行する有価証券に関して何らかの取引を行っており、または将来行う可能性があります。そのため、SR Inc.の役員および従業員は、該当企業に対し、本レポートの客観性に影響を与える利害を有する可能性があることにご留意ください。

金融商品取引法に基づく表示

本レポートの対象となる企業への投資または同企業が発行する有価証券への投資についての判断につながる意見が本レポートに含まれている場合、その意見は、同企業からSR Inc.への対価の支払と引き換えに盛り込まれたものであるか、同企業とSR Inc.の間に存在する当該対価の受け取りについての約束に基づいたものです。

連絡先

株式会社シェアードリサーチ / Shared Research Inc.

東京都文京区千駄木3-31-12

HP: <https://sharedresearch.jp>

TEL : (03)5834-8787

Email: info@sharedresearch.jp